



**いよいよ台風シーズンに突入します。  
自治会には加入されていますか？自主防災組織は立ち上がっていますか？  
我家の災害対策は大丈夫ですか？**

活発な梅雨前線の影響で、記録的な豪雨に見舞われ九州地方を中心に日本列島各地で多く被害がでています。被害に遭われた皆様には、心より御見舞い申し上げます。

地球温暖化等による異常気象により、災害は、今や毎年あるとの思いから、もう一度、「備えあれば、憂いなし」の言葉をかみ締め、どうか2年前の大災害を教訓として、我家でできる災害対策をご家族皆で話し合っていたきたい。そして、地域でできる自治会組織を中心とした、自主防災組織を立ち上げ、地域でできることは地域でしっかりと守り合い、助け合って備えていただき、その中での様々な問題点につきましては、いつでも大山にご相談いただければと思います。



6月10日ジャフ島地震被災者救済募金



公明党が全国的規模で推進しましたAED（自動体外式除細動器）が高松市役所等にやっと配置されました。

高松市役所、文化芸術ホール、市総合体育館、中学校22施設にAED（自動体外式除細動器）が設置されます。昨年6月・12月の議会一般質問で設置を訴えて参りましたが、やっと高松市役所では、6月30日に正面玄関の入り口に設置されました。

このAEDは普通救命講習会の中で、取り扱い説明があります。またその講習会では、人口呼吸時の感染予防の為にマスク『フェイスシールド』も配布されることが決まりましたので（大山が今年の12月議会一般質問で要望しました）、是非、積極的に普通救命講習会を受講していただきたいです。『私たちにも救える命があります!』

公明党の四国夏季議員研修会が7月16日三木町で開催されました。

研修会では初めに今年度から社会保障制度が大きく変化していくことについて（障害者自立支援法、医療制度改革法、改正介護保険制度）の現状などを研鑽し、また、党中央から冬柴幹事長をお迎えして、公明党が連立政権に参加した経緯と現在、景気が回復基調にあることについての公明党の存在意義について等伺いました。そして、公明党議員の原点である現場第一に徹した仕事をする政党として真剣に取り組んでいくことを誓いあいました。



夏季議員研修会にて冬柴幹事長と共に



### ～6月度議会報告～

#### 不登校児童生徒支援について

不登校児童生徒に対し、教員OBの方々を含めた学習ボランティアを活用した、ITを利用した学習活動支援の実施をすることが必要ではないでしょうか。

この制度の運用に当たり、児童生徒のニーズ調査を始め、IT環境の整備や教材の確保、訪問による対面指導等に適した人材が必要となることから、先進的な事例や事業効果など、実質上の課題について、今後調査研究を行っていく。

## 高等学校等入学準備金貸付制度について

- ① 現在の私立学校の場合貸付金額が15万円になっていますが、母子寡婦福祉資金貸付のように、入学準備に実際かかる費用に見合った金額への改正が必要では？
- ② 連帯保証人の設定がとても困難を要しているようです。母子寡婦福祉資金貸付のように、生徒本人も借受人になれるようにしては？
- ③ 返還方法についても、授業料等の支払いがあることから、修学終了後の支払い開始にしては？

- ① 前回の貸付額改正から28年が経過し、貸付額が実勢を反映していない面もあることから、今後他都市の状況などを調査する中で、条例改正について、検討していく。
- ② 今後、本制度の趣旨や、類似制度との均衡等の観点から、検討していく。
- ③ 今後他都市の状況なども参考に、条例改正の検討の中で、合わせて検討していく。

## 障害者自立支援法について

- ① 障害者に対し、所得制限枠を設定してでも、市単独の負担軽減策を図るべきではないでしょうか？
- ② 障害者の就労支援センターを高松市に設置することが大事では？
- ③ 市役所での充実した就労実習の実施をしては？
- ④ 市役所での精神障害者の雇用を含めた障害者雇用の促進についてのお考えは？

- ① 月ごとの負担には上限があり、所得の低い方には上限額が低く設定され、さらに、個別減免、食費等実費負担の軽減措置などもあることから、国の基準により軽減してまいります。
- ② 就労面と生活面の一体的な支援を行う、障害者就業・生活支援センターの本市への設置を、県に働き掛けてまいります。
- ③ 現在は、市の障害者施設において、実施していますが、今後は、市役所の事務部門においても実習の機会を設け、その充実に努めてまいります。
- ④ 本年度から、精神障害者が障害者雇用率の算定対象となりましたことから、ハローワーク等の関係機関とも連携し、精神障害者の雇用促進に留意してまいります。また、年内を目途に策定する障害福祉計画において、一般就労への数値目標を掲げ、障害者雇用の促進に努めてまいります。

## AEDの小学校等設置について

- ① 国が一般市民でも8歳未満または体重25キログラム未満の小児に対して、AEDの使用を解禁しましたので、小学校においてもAEDを設置しては？
- ② 夜間、休日に運動場、体育館を利用する方々もAEDを使用できる設置場所の検討が大事では？
- ③ 不特定多数の市民の方々が集う施設に、優先順位をつけAEDを計画的に設置することが大事では？

- ① 他都市の設置状況等を調査する中で、検討してまいります。
- ② AEDは保管管理上の問題があること、また、日常的な作動確認が必要であることなどを踏まえる中で、設置場所等を検討してまいります。
- ③ 本年度の設置実績の検証や他都市の設置状況、さらには香川県メディカルコントロール協議会で取りまとめられた、AED普及促進のための意見書も考慮するとともに、取扱者の確保状況や設置の緊急性なども十分見極める中、適切に対応してまいります。

## 中学校の部活動について

- ① 部活動の存続・廃止にあたっては、職員会議のみの決定ではなく、地元PTAとの連携をしっかりと取り協議していくことが大事ではないでしょうか？
- ② 様々な部活動に関する相談（部活動の復活も含め）に対し、教頭先生等が中心となって相談を受ける窓口を設置することが必要ではないでしょうか？
- ③ 高松市の中学校体育連盟の合同チーム編成規定で、部が存在していなくても、合同チーム編成ができるようにする改正を要望していただきたい。

- ① 現在は、各学校において、将来的な部員数の見通しや、中、長期的な活動状況をもとに、職員会議や部活動の顧問会等で検討し、校長が判断をしています。今後のおきましては、地元PTAの意見を求めるなど、よりよい対応が図られるよう、指導を徹底していく。
- ② 部活動担当顧問や学級担任が生徒から相談しやすい人間関係を築くことはもとより、管理職を中心とした、校内相談体制を整備するよう指導していく。
- ③ 複数の学校が合同で部活動することは、特に問題はありませんが、チームを編成する上で、それぞれの学校に、部活動としての位置づけがない場合、事故等の対応に問題が生じることや、県大会や全国大会等に出場できないことから、現在のところ、日本中学校体育連盟および県中学校体育連盟の規定に基づいた対応を行っています。今後、生徒数の減少傾向を踏まえ、部活動の在り方や位置づけ等を含め、市中学校体育連盟に問題提起をするなど、適切に対応していく。

## 法律無料相談の日

### ▼公明党県本部（815-2206）

8月 9日（水）13時30分から  
8月23日（水）13時30分から  
9月 6日（水）13時30分から  
9月27日（水）13時30分から

### ▼高松市法律相談の日（839-2111）

毎週火曜日

（ただし、高松市民のみになっています）

※いずれも要予約ですので、ご一報下さい。

## レジ袋減らしませんか？



この美しい地球を守ることは、今生活をしている私たちが努力をして取り組むべきことで、日本の古くから使われている風呂敷やマイバックを用いて、石油から作られたレジ袋を使わない努力もその一つです。容器のプラスチックごみは、家庭ごみの約60%でその内、15%はレジ袋だと言われています。地球温暖化防止の為に、自分達ができる省エネを1つからでも実践しませんか？